

夏の夜空を見上げる、星空観測会を開催

8月5日、滝里ダム防災施設前でたきさとスターウォッチングプロジェクト（代表／吉田純昭）の主催で星空観測会を3年ぶりに開催、20人ほどが星空を堪能しました。

会場では壁の大スクリーンに、今晩の星空が映し出され、時間を縮めた動画を再生し、これからの星の様

子を解説、実際の空を見上げて星座や天の川などを確認しました。

また、会場には5台の天体望遠鏡が設置され、月面や土星の環なども観測することができました。

解説中には、明るく大きな流れ星も見ることができ、来場者の中には思わず歓声をあげる人もいました。



「音のふるさと」芦別合宿。軽音楽部が感謝の成果発表ライブ



8月6日、星槎国際高校芦別学習センターで、札幌厚別高校軽音楽部が成果発表ライブを行い、5日間の芦別合宿への感謝を込め、関係者や市民らに演奏を披露しました。

これは、市民有志など6人で構成される「音の降る里あしべつプロジェクト実行委員会（坂田啓一郎実

行委員長）」が主催する同部芦別合宿のプログラムの一環として行われたもので、コロナ禍の影響により3年ぶり、2回目の開催となりました。

同委員会は、星槎国際高校での練習や永昌寺への宿泊、市内飲食店からの食事の手配など、39人の参加者への精力的な支援を行いました。

キャンバスに空を描こう。イラストアート教室が開催

地域おこし協力隊岩崎佳奈美さんを講師に迎えた「夏休みこども講座イラストアート教室」が市教育委員会の主催により、8月8日と9日に市民会館で行われました。

講座は小学3年生から6年生を対象にした初級コースと中・高校生を対象にした上級コースの2コース

で、8日の初級コースには13人の女子児童が参加しました。

参加者は、配られた手のひらサイズのキャンバス（絵画用の画布）に思い思いのアクリル絵の具を塗り重ね、講師からグラデーションのテクニックやコツを学びながら、個性豊かな空の絵を描き上げました。



女子バレーのJTマーヴェラスが3年ぶり12回目の芦別合宿を行う



女子バレーボールチーム「JTマーヴェラス」が、8月10日から24日まで芦別合宿を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、2年連続で芦別合宿が中止となりましたが、今年は3年ぶりに実施されました。

今回は、女子日本代表に招集され

た4人を除く吉原知子監督率いる選手9人とスタッフが参加しました。

20日には、総合体育館にてバレーボール教室が開催され、市内同好会の小学生や芦別中学校、啓成中学校など中空知の中学校女子チーム9校、約100人がバレーボール教室に汗を流していました。